

週報 南相馬ロータリークラブ



第 11 回 通算 505 回

495th Program

2018 年 9 月 19 日 (水) 12:20～13:30

司会 SAA 青木謙二 会員
大谷和年 会長

ゲスト卓話「ロータリーの友を読もう」

ロータリーの友地区代表 佐藤和子氏

開会点鐘／ロータリーソング
「我等の生業」／「四つのテ
スト」唱和／お客様並びに来
訪ロータリアン紹介／会長の
時間／昼食／会員卓話／幹事
報告／各委員会報告／出席報
告／スマイルBOX報告／閉
会点鐘

「会長の時間」

会長 大谷 和年



年度当初において五大重点項目を説明し、その中でも新しい取り組みとして、インターアクトクラブの立ち上げと組織図の変更をお話しました。インターアクトクラブの立ち上げは、インターアクト委員長により、学校側との話し合いが行われていますが、年度途中ということもあり、学校側の組織づくりに若干時間がかかっています。あまり無理をしないで、学校側の新年度に合わせる方が良いと思っております。しばらく時間が必要だと思います。組織図の変更はまだ委員長さんが慣れていない状況で、今後の活動に期待するところが大きいです。委員長さんとの意見交換等で何回か話しましたが、今年度の委員会の活動は基本的に単独の活動はありません。ほぼすべてグループの活動で対応します。事業を抱えている委員長さんから積極的にグループ内に情報を発信し、グループ会議の開催を声掛けしなければなりません。委員長さん一人で考えるよりグループで考えるほうが、より委員会の活動を活発にできると考えるからです。従来の

担当委員会だけでという考えではありません。単独委員会にはほぼ2名しかいない事が、グループでの活動が必要とされる理由です。今までは、理事会を中心とした役員会で運営の段取りをしてきました。しかしクラブ活動の主体は委員会です。委員会が活発に活動することによって、一般会員の役割が増え、ロータリーの認識も高まると考えます。例会の時間を利用し、今月は「会員増強委員会」、来月は「戦略計画委員会」11月は「研修委員会」の時間を設定し、会員と直接話し合う時間をプログラムに組んであります。その後も継続して各委員会からの話をさせていただくことを考えています。自分のクラブが目指すべき方向、そして課題を会員が共有することは重要なことだと思います。そして自分のためにも、聞きたいこと、提案等を積極的に発言してください。よりロータリーの認識が深まること、また何より自分のクラブに対する理解が深まるのが、ロータリー活動に取り組む姿勢をより積極的にするものだと思います。

ゲスト卓話「ロータリーを読もう」

ロータリーの友地区代表委員 佐藤和子氏

自己紹介：1948年、福島市生まれ。18歳まで市内で育ち、大学で東京に出て建築を学び、都市計画のコンサルティング事務所に25年所属し、全国のまちづくりに貢献し、父の死により48歳で福島市にUターンし、まちの和研究所を設立しました。

ロータリーの友地区代表委員とは、『ロータリーの友』に関して、ガバナーと連携し建設的な提言をする役職です。ガバナーから「ガバナーの代理」として任命されるため、ガバナーと緊密に連絡を取ることができるガバナーと同じクラブの会員、または、地区の諸事情に詳しい地区幹事経験者などが選ばれることが多いようです。地区でただ1人の役職であり、職業奉仕委員会、ロータリー財団委員会のような委員会組織がないため、あまり知られていないのが現実ですが、読者の皆さまと『友』をつなぐ大切な存在です。地区代表委員には、オリエンテーション、ゾーン別会議を含め、年に4回の会議に出席して、各地区の情報を報告します。友編集部には6人のスタッフがいますが、ロータリアンはいないため、地区代表委員から、各地区内のクラブの奉仕活動や話題になっていること、課題点など、会員の視点で情報提供を行います。それらを基に編集部で特集など、企画を組んでいただいています。また、『友』を読み、雑誌の出来を評価して、毎月レポートを提出しています。このレポートの意見は毎月開かれる（一社）ロータリーの友理事会で報告され、『友』の編集につながります。ということで、福島中央ロータリークラブから初めて輩出した平井ガバナー年度のロータリーの友地区代表委員となりました。ロータリーの友は1953年1月に創刊しました。その前年、1952年7月、戦後1地区だった日本のロータリーが東西2地区に分割されました。地区が分かれても、それまで一緒に活動してきた仲間同士、これからもつながってほしいという思いが、当時のロータリアンたちにあったのでしょう。両地区の懸け橋として『ロータリーの友』が誕生しました。『友』は、日本のロータリアンの絆の証なのです。『ロータリーの友』が創刊するに当たって、いろいろなことが話し合われ決められました。その一つが、この雑誌を全て横組みで編集するとい



うことです。1953年当時の状況を考えると、横組みというのはずいぶん画期的なことだったのではないかと推察されます。そうして横組みだけで始まった『友』ですが、「俳壇・歌壇」など横組みでは入れられないページが登場し、それらを縦組みで入れるようになりましその後、「卓話の泉」、「談話室（現ロータリー・アット・ワーク文章編）」など、少しずつ縦組みで入れる記事が増えてきて、それらを巻末に入れていました。それならと、反対側にも表紙を付けたのが、現在の両方が表紙という珍しい雑誌の始まりです。それぞれにどのような記事を入れるのか、初めはきちんと仕分けされていなかったようですが、少しずつ整理されてきました。横組みには、例えば国際ロータリー（RI）からの情報、ロータリー特別月間に関する特集といった、ロータリー地域雑誌としての公式な情報を掲載しています。RIの動きや情報を知ることができ、それらについて日本のロータリークラブがどのように取り組んでいるのか、といった記事も掲載しています。縦組みは、創刊同時のロータリアンの思いを継承するものです。どのようなクラブがあって、どのような活動をしていて、どのようなロータリアンがいて、どのようなことを考えているのか、日本国内の仲間同士の交流の場です。従って、投稿が中心となっています。横組について「RI指定記事」って何ですか。『ロータリーの友』は、ロータリー地域雑誌に指定されています。そのために従わなければならない規則が幾つかありますが、その一つが『The Rotarian』から、指定された記事を転載するというもので、それが「RI指定記事」です。RI会長や財団管理委員長のメッセージや、

毎年 8 月号に掲載する「ロータリーの基本知識」、11 月号、2 月号、5 月号に掲載している「GLOBAL OUTLOOK」がその代表的な記事です。外国の記事はあまり興味が無いと言われる方も多いようですが、全世界のロータリアンが情報を共有した方がよいと思われる記事が指定されていますので、是非ご一読ください。「自分たちのクラブはどうだろうか」とか、「こんなに離れた所にも仲間がいる」と思いながら読むと、身近に感じることができるようになるでしょう。縦組について スピーチ 各地区で行われた地区大会の記念講演会や I M での講演会等の要旨を掲載しています。「クラブを訪ねて」は、各地区から 1 クラブを選定し、当 2530 地区は、飯坂ロータリークラブが 2018 年 1 月に



取り上げていただいたので、しばらく番は回ってこないと思いますが、全地区制覇はあと 5 地区ですので、2 巡目に入ったら、地区で取り上げていただく可能性はあります。友愛の広場エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感などを 1,000 字程度で紹介しております。卓話の泉 クラブ会報、週報に掲載の卓話の中から客観的内容の話題、ミニ知識となるものを編集者が選んで要約・掲載していますので、会報を是非友の事務所へ送ってください。

ロータリー・アット・ワーク写真編ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介しています。ロータリー・アット・ワーク文章編、ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を文章中心で紹介しています。また私の一冊会員おすすめの本の紹介では一般的、入手可能な市販書籍を取り上げています。我が町の味では、我が町の自慢の郷土料理や、変わった例会の食事、個人的な思い出の味などを紹介しています。ぜひ投稿してください。ロータリーの友出版物については、ロータリーの友以外にロータリー手帳、広報誌として「ROTARY 世界と日本」1 セット (10 冊) 定価 500 円+消費税があり、新会員勧誘のための広報誌として「ROTARY あなたも新しい風に」1 セット (5 冊) 定価 400 円+消費税等があります。これらを使い、RI の広報や会員増強に利用してください。

佐藤様、本日は遠方より貴重なお時間とお話しをありがとうございました

「Lunch time 一分間スピーチ」

野地 庄蔵 会員

亡くなった祖父がもっていた山を、父がどんな状況になっているか大変心配していましたので、先月視察してきました。持っている山は南側の一部で、そこに杉の木をきれいに植えていました。グーグルで航空写真を見ますと、隣の雑木林との違いがはっきり鮮明に映し出され、杉の緑がとてもきれいでした。行った日はとても暑く 40 度近い日でした。昭和の初め頃に植えた杉で、50 年近く経っていて、とても立派に育っていてとても感動しました。その山に行くのは、30 年ぶりでした。今は放射能の影響で使い物にはなりません。福島県としては、風評被害を無くす為に、森林再生事業を行っています。将来どうなるかわかりませんが、森林保存は大事だと感じ残していきたいと決意をしました。



「幹事報告」

- ハイライトよねやま VOL.222 が届いています。
- 原町中央RCより「年次計画・報告書」が届いています。
- 9月15日（土）地区青少年セミナーに委員長の岡田会員、副委員長の若林会員で出席してきました。

「各委員会報告」

- 戦略計画委員長・川崎会員より先週、会員増強委員会から説明がありましたように、紹介者カードを配布しました。皆さん、ご協力をお願いします。

<<<今週のご寄付 2018年9月19日>>>

| | | | | |
|--------------|---|----------|----|-----------|
| ■ ローターリー財団 | 計 | ¥6,000. | 累計 | ¥89,000. |
| ■ 米山奨学会 | 計 | ¥8,000. | 累計 | ¥79,000. |
| ■ スマイルBOX 報告 | 計 | ¥19,000. | 累計 | ¥181,500. |

| | | |
|-------|-------|--|
| 青木謙二 | 1,000 | 佐藤様卓話ありがとうございます。御座います。 |
| 岡田義則 | 1,000 | ロータリーの友地区代表委員佐藤様卓話ありがとうございます。 |
| 大谷和年 | 4,000 | 佐藤代表遠いところ、ありがとうございます。9月18日 同好会ゴルフコンペ優勝を記念して。 |
| 小澤積 | 1,000 | ご苦労様でした。 |
| 川崎博祐 | 1,000 | 佐藤和子様卓話ありがとうございます。 |
| 野口美佐子 | 2,000 | 佐藤和子様ご来訪卓話ありがとうございます。同好会ゴルフコンペ準優勝を記念して |
| 野地庄蔵 | 1,000 | 佐藤様、ありがとうございます。 |
| 三浦宏美 | 1,000 | 佐藤様ご来訪ありがとうございます。 |
| 宮城住夫 | 3,000 | 同好会ゴルフコンペ3位及びニアピン賞として。 |
| 門馬純子 | 1,000 | 佐藤様、本日の卓話ありがとうございます。今後共よろしく願い申し上げます。 |
| 山田実 | 1,000 | |
| 若林尚之 | 1,000 | 佐藤様卓話ありがとうございます。 |
| 渡部亜季 | 1,000 | |

(円)

出席報告 : 会員数 29名 出席数 14名 出席率 48%

南相馬ロータリークラブ Since. 2007

会長：大谷 和年 / 幹事：岡田義則

例会日：毎水曜日 12:30～13:30

例会場：フローラ原町 南相馬市原町区高見町2丁目30-6

事務局：南相馬市原町区錦町2丁目68-6

TEL 0244-23-1268 FAX 0244-26-5935

HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail minamisomarc@white.plala.or.jp

